

平成22年度 学校自己評価表 (定時制課程)

(計画段階・実施段階)

福岡県立ひびき高等学校長

印

17

学校運営計画 (4月)		評価 (3月)		
<p>学校運営方針</p> <p>志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい人材を育成する。そのために、校訓「自助・自敬・信愛」の精神を培い、指針のない時代を自らの判断でたくましく生きていく力量を育成するとともに、生徒一人一人の個性・特質を伸張させ、コミュニケーション能力、判断力、社会性を向上させる。また、保護者・同窓会・地域・中学校等に支援され、ニーズに応える学校づくりを目指す。</p>				
<p>昨年度の成果と課題</p> <p>単位制高校としての特長に対する認識が深まり、多様な学習ニーズに対応した教育活動が効果的に推進されるようになってきた。本年度は、規範意識に満ちたやすらぎのある学習環境を提供する中で、生徒の学ぶ意欲に的確に応え、将来の自己実現を見据えた進路意識や社会性を育む教育活動の充実、深化に努める。更に、教育活動に対する説明責任を果たすとともに、公開講座や研修会等をおして一層の理解・啓発に努め、地域に開かれた学校を目指す。</p>				
<p>年度重点目標</p> <p>魅力ある授業づくりを推進し、わかる楽しさや学ぶ喜びを共有する学習活動を展開する。</p> <p>安全・安心とやすらぎのある学習環境を提供し、意欲と思いやりに満ちた社会性のある生徒を育成する。</p> <p>望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育を推進し、生徒一人一人の希望進路の実現を図る。</p> <p>授業の工夫・改善に向けた研修に取り組み、教員の資質・能力の向上を図るとともに、所管する行事の充実を図る。</p> <p>実体験を重視し自発性とコミュニケーション能力を培い、国内外の教育機関との交流により地球市民意識の向上を図る。</p>		<p>具体的目標</p> <p>生徒授業評価、学校生活アンケートの分析をおして生徒のニーズを的確に把握する。</p> <p>学習指導の研究推進と教員の資質・能力の向上を図り、学校設定科目の新設を検討する。</p> <p>マナーアップひびきや授業マナーアップ週間をおして、規律・マナーの向上を図る。</p> <p>生徒会活動及び奉仕活動を活性化させ、学校行事の充実と学校環境の維持向上を図る。</p> <p>各年次で早期の進路目標決定を促し、適切な受講ガイダンス及び受講登録を実現する。</p> <p>高大等連携やインターンシップを充実させ、生徒の個性を伸張し社会性を向上させる。</p> <p>相互授業参観、研究授業、授業公開などの実施に加えて、ICTの活用を促進する。</p> <p>生活体験発表会やシラバスの活用により生徒の意欲を高め、学校生活の充実を図る。</p> <p>ユネスコ共同学校として米国イースト高校や環境ミュージアム等の教育機関と連携する。</p> <p>生徒海外研修や海外の高校とのテレビ会議等を活用した異文化理解教育を推進する。</p>		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	次年度の主な課題
教務部	教務部	学習指導力の向上やHR活動の充実等、本校の教育力向上を図る。	魅力ある授業、鍛える授業を構築するために研修を深め、単位修得率を85%に向上させる。生徒同士、生徒と教職員との人間関係を深めるためにHR活動の機能、教育内容を充実させる。	
	教務課	学習指導力を向上させるとともに、HR活動を充実させる。	新学習指導要領に対応した時間割マスタを作成し、学習指導研修会を年2回実施する。道徳心や学校への帰属意識を向上させることができるHRの活動内容を構築する。	
	情報システム課	教務支援システムのデータ活用を推進し、IT環境の整備・充実を図る。	各分掌と連携し、教育力向上に資するデータ活用に関して研修会等を2回以上実施する。校内LANの整備、学校代表メールの管理、各種データの保存・管理を確実に行う。	
	庶務・広報課	校務全般の調整に努めるとともに、積極的な広報活動を展開して行く。	年間行事の日程等を調整、管理するとともに、諸会議の事績管理を行う。体験入学会や中学校訪問を年2回ずつ実施し、HPや学校紹介ビデオを作成する。	
生徒指導部	生徒指導部	心豊かに逞しく生きる力を育て、自主性と自己責任力の伸長を図る。	生徒会活動の活性化と学校行事の充実を努め、魅力ある学校作りを推進する。優しさを培う多様な奉仕・体験活動を呼びかけ、地域に根ざした学校作りを推進する。	
	生徒指導課	校内外の巡視を通じて、安全・安心を確保し、規律・マナーの向上を目指す。	「マナーアップひびき」として全職員を割り当て、校内4回及び校外1回の巡視を毎日行う。交通ルールの遵守など、登下校中のマナー向上を目的として校外マナー指導を年5回行う。	
	修学課	生徒情報を共有化し、早期対応を行うことで退学者の減少に努める。	中退者1割減を目標として、修学課会議を週1回開催し生徒の状況を的確に把握する。全職員が情報を共有し学校生活の充実を支援する生徒情報交換会を月1回実施する。	
	保健課	教育環境の整備充実を努め職員・生徒の健康増進を支援をする。	生徒の健康管理のために諸検診の円滑な運営を心がけ、受診率100%を目指す。生徒の美化意識を高めるために、毎月1回「クリーンアップひびき」を実施する。	
ガイダンス部	ガイダンス部	自分を探り、自分を伸ばす進路選択及び進路実現の支援を行う。	キャリア教育の視点を導入し、能力や適性を生かした進路希望の実現をサポートする。各課の連携強化や生徒の進路情報を教職員間で共有し、進路決定率10%向上を目指す。	
	ガイダンス課	適切な受講ガイダンスを計画実施し、技術・実現力を向上させる。	生徒の興味関心を引き出す講義を準備して近未来ガイダンスを7月に実施する。希望進路の実現に向けた受講ガイダンス登録に関する研修会を2回以上実施する。	
	進路指導課	単位制普通科としての進路指導体制を構築し、生徒の希望進路を実現させる。	進路希望調査や各種模試の情報収集・分析を行い、進路状況研修会を学期に1度実施する。HR・総学の内容や小論文指導をAO入試や推薦入試等の多様な形態に対応させる。	
	進路渉外課	高大等連携・企業訪問・インターンシップの充実と資格取得率を向上させる。	高大等連携事業・企業訪問・インターンシップを充実させ、進路決定率10%向上を実現する。希望進路の実現に向けて各種資格試験の受験を奨励し、資格取得率10%向上を目指す。	
研修部	研修部	「魅力ある授業」づくりを目指し、学校全体の教育力向上に努める。	授業研修を中心に教員間の授業相互参観を促進し、昨年比150%の参加を目指す。各分掌との連携を図り、直面する課題解決を目指した校内研修を月1回実施する。	
	研修・図書課	行事を通じた教職員の資質を高める支援と、学校図書館の充実を図る。	生活体験発表 (9月) や特別時間割 (3月) 等を更に充実させ、生徒の学習意欲を高める。生徒が読書に親しむことができるよう、広報紙「ライブラリー」を月1回発行する。	
年次部	新入生年次	職員間の連絡を密にし協力体制を充実させ、生徒指導態勢を向上する。	面接月間中に全生徒及び保護者との面談を行い、信頼関係を築き、指導に役立てる。生徒への指導を早期に行い、各分掌と連携して生徒の出席率向上を図る。	
	在校生年次	生徒間、生徒と職員間の連携を形成し、生徒の修学意欲を支援する。	年次のミーティングを極力多く設定し、生徒の状況をリアルタイムで共有する。生徒とのコミュニケーションを図るために、毎日必ず3人以上の生徒への話しかけをする。	
	卒業生年次	生徒一人一人の希望にそった進路を実現する。	HRや総合的な学習の時間や個人面談等を通して、進路に応じたきめ細やかな指導を行う。保護者や専門機関と連携し、社会人になるにあたってふさわしい生活習慣を確立させる。	